

# 「ファスレーン365」と市民的抵抗

## 核兵器をなくすきっかけがイギリスに

広島，2008年8月3-5日

佐賀大学理工学部教授／ファスレーン365日本代表 豊島耕一

### 要約

昨年夏、イギリスの非核化を目指すキャンペーン「ファスレーン365」に日本チーム12名を編成して参加した。短時間ながら平和的に核兵器基地のゲートを封鎖した。現地での協力者も含め5名が逮捕されたが、メディアの扱いは大きくかつ好意的で、イギリス、特にスコットランドの反核世論を支援するのに多少なりとも貢献できたと思う。昨年春の反核スコットランド政府の成立によって、核兵器国の中ではイギリスが非核化に最も近い位置にある。したがって、これは世界市民が力を集中すべき課題の一つである。また、日本でも市民的抵抗（非暴力直接行動）の実践を広げていくことは、運動の前進にとって必要なことと思われる。

### 1. 核をめぐる世界の状況

2007年7月現在で世界には依然として26,000発もの核弾頭が配備または貯蔵されている[1]。国家だけでなくテロリストによる核の脅威も。一方、次のような成果もあがっている。

- 1) 世界に7つの非核地帯条約，うち4つが発効。日本に関しては，北朝鮮，韓国，日本と対象とした「東北アジア非核地帯構想」の提案[2]
- 2) 「核兵器は一般的に違法」とした国際司法裁判所の1996年の「勧告的意見」。
- 3) 2000年の核不拡散条約（NPT）再検討会議で核大国に「核廃絶への明確な約束」をさせる。

### 2. 反核運動の新しい流れ

イギリスの反核運動トライデント・プラウシェアズ(Trident Ploughshares, TPと略)は市民の手で直接核廃絶を実行するという点でユニーク。1998年5月の創設以来 [3] 目覚ましい成果

- (1) 警察との間に信頼関係を築き，(2) 一見過激な行動に幅広い市民の支持を集めることに成功，
- (3) 「第二のノーベル賞」と言われるライト・ライブリフト賞を受賞。

### 3. 「市民による核廃絶」に対する裁判

1999年6月8日午後7時，TPのメンバーの女性3人が，グラスゴーにほど近いゴイル湖（入り江）の原潜関連施設を「非武器化」。1999年10月21日，無罪評決。判決から約半年後の2000年3月にアンジーを日本に招き，「3月のメイトタイム」と称して北海道から沖縄まで全国縦断講演。（岩波の「世界」2000年9月号に講演内容。「支援する会」ウェブサイトに掲載[4]。）その後「法務総裁の事件付託」と呼ばれる非常にまれな司法手続[6]。

### 4. 活動の原則とスタイル，合法性の理論

非暴力，公開性，アカウントビリティを重視。市民の安全を守るべき警察はむしろ率先して大量破壊兵器を取り締まるべきだと考え，警察との関係を重視する。

市民による法の執行：核戦争の準備は最大規模かつ最悪の犯罪。国家自体が行っているのだから，国家による取り締まりを期待することができない。ニュルンベルグ裁判によって確立された個人責任の原則[5]を拡張。つまり，違法な命令に従ってはならないという義務は，市民がその違法な命令を阻止するべく介入する権利および義務として拡張されなければならないとする。

直接行動に否定的だったCND（日本の原水協，原水禁に相当する最大規模の反核団体）もコミットしている。ファスレーン365（後出）にも参加。

### 5. さまざまな非武器化活動

2001年2月の「大封鎖」には千人以上が参加，逮捕者は385人。国会議員1名とカトリックの聖職者15名が含まれる。スコットランド出身の俳優ショーン・コネリー [7]や，女優エマ・トンプソンもメッセージを寄せた。

原潜の修理ドックがあるデヴォンポート（Devonport），核兵器工場のオルダーマストン（Aldermaston），トライデント潜水艦が建造されるバロー（Barrow）の造船所なども抗議行動，非武器化行動の対象に。

実際に核兵器システムに被害を与えた2例<sup>1a</sup>：

1999年2月，バローに停泊していた英海軍のトライデント原潜に二人の若い女性が泳ぎ着き，原潜のレーダー装置を破壊。裁判は2001年10月に不一致陪審となり実質無罪に。

2000年11月3日，カトリック司祭と奉仕員の二人が，ケンブリッジ州のウィットリング空軍基地に駐車中の核兵器輸送車4両をハンマーで壊す。1年間の「投獄」判決。それに相当する期間すでに拘置されていたため，判決後釈放。

核以外では，アメリカのイラク侵略に使われるのを防ぐために，アイルランドの5人は2003年2月，アイルランド，シャノン空港で米機を損壊した。2006年7月に無罪評決。（メンバーの一人がTP）

## 6. 「ファスレーン 365」に参加

現行システムは 2025 年頃退役。'07 年、英国議会の内外において、8 兆円ともいわれる膨大な資金を伴う核兵器システムの更新が議論。英国国民の 6 割が更新に反対（スコットランドでは 7-8 割）。「ファスレーン 365」は、この絶好の機会に世界中の市民が協力して英国政府に核廃絶の圧力をかけようという国際プロジェクト。

英国の核兵器は 4 隻の原子力潜水艦に搭載の「トライデント」ミサイルがすべて。その基地、スコットランド・グラスゴー近くのファスレーンを一年間封鎖する。

### 著名人、団体が賛同

CND(英国核廃絶運動)、国際平和ビューローほか多数。

個人では、ノーベル平和賞受賞者のシリル・エバディー、同じく平和賞受賞者で「9 条世界会議」で基調講演をしたマイレッド・マグワイア（実際に封鎖に参加し逮捕された）、スコットランド議会や英国下院の議員多数。

### 日本実行委員会（06 年 10 月結成）

**賛同団体**：グリーンピース・ジャパン、日本反核法律家協会、日本YWCA、ピースポート など 14 団体

**個人**では、日本被団協事務局長の田中熙巳さん、元防衛庁官房長の竹岡勝美さんなど多数。

日本チーム 7 月 25 日に「基地封鎖」行動を実施  
原爆写真・絵画パネル展示、平和の水のセレモニー、折り鶴封鎖、バンブー・ロックオン  
ヘレンズバラでの歓迎集会、エジンバラでのガーデンパーティー。

## 7. 核をめぐる英国とスコットランドの状況

07 年 3 月、英下院でトライデント更新の政府提案を審議。409 対 161 でブレアの提案が可決。与党内から 88 人の造反。反対するため政府メンバーを辞任した議員も。

一方、二ヶ月後 5 月 3 日のスコットランド議会選挙で、英国からの核廃絶を主張する SNP(スコットランド国民党)が第一党に。自治政府のサモンド首相は 10 月に官民共催の「トライデント・サミット」を開く。サモンド氏が各国政府に核廃絶活動への協力を求める書簡を送る。

また、07 年中に、スコットランドに於いて核兵器を違法化する法律の草案 (Nuclear Security Bill) が提出された[8]。この夏に審議される可能性も。

08 年 2 月には、同地域から核を廃絶するための方策を探る専門家チームを設立。レベッカ・ジョンソンもメンバーの一人。5 月 8 日に第一回会合。

「オルダーマストン大行進」50 周年を記念した CND 主催の 3 月の行進には原水協から 15 名が参加。TP は今年(08 年)10 月 27 日にオルダーマストンの封鎖”Aldermaston Big Blockade”を計画。

## 9. 「九条の輸出」としての、日本市民のコミットメント

核兵器は「九条」の対極の存在。核兵器国の非核化に日本市民が貢献することは九条の輸出であり、その反作用として国内の運動も empower される。

### 10. 非暴力抵抗の反核運動以外の分野への一般化？（民主主義の補完物として）

「市民による国際法の執行」という考えに基づく非暴力直接行動を一般化して、民主主義制度の機能不全を補うための活動として幅広く活用。

辺野古の<<海上座り込み>>ではすでに成果を挙げている一方、単なる「ピラ配り」が「直接行動」とされるという面もある。

#### 11. 「市民的抵抗」は軍隊の代わりに国家の防衛に使えるか？

1968 年のチェコスロバキア、ソ連解体時のバルト三国とソ連。マイケル・ランドル著「市民的抵抗」（新教出版、2003 年）の第 5 章以降参照

註

- [1] 「核兵器・核実験モニター」286,287 合併号, 2007 年 9 月 1 日, NPO 法人ピースデポ発行
- [2] 271-2 合併号, 同, 2007 年 1 月 15 日。
- [3] 1998 年 5 月 2 日に広島、ロンドン、エディンバラ、ブリュッセル、エーテポリの同時記者会見で行動開始が発表された。広島ではアンニャ・ライトと大庭里美（故人）が会見。
- [4] 「ゴイル湖の平和運動家を支援する会」  
<http://www003.upp.so-net.ne.jp/maytime/goilsupt.html>
- [5] ニュールンベルク裁判の諸原則は国連サイト参照  
<http://www.un.org/law/ilc/texts/nurnberg.htm>
- [6] 朝日新聞の 2001 年 2 月 7 日付紙面参照。
- [7] “Two decades of protest at Faslane”, Guardian, Feb.12, 2001
- [8] 「証言 2008」（長崎の証言の会発行）に提案者の文章が掲載予定。

固有名詞説明

トライデント=イギリスが保有する 4 隻の核ミサイル原子力潜水艦。それぞれ広島原爆の 8 倍の威力の弾頭を最大 48 個搭載。

TP=トライデント・プラウシエアズの略。

メイタイム=原潜の音響・磁気特性をテストするための水上実験室。グラスゴーの近くの入江に設置。

筆者連絡先：職場電話/ファクス 0952-28-8845

メール toyo@cc.saga-u.ac.jp

ファスレーン 365 日本実行委員会ブログ：

<http://faslane365.blog86.fc2.com/>